

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7月ドイツ I f o 企業景況感

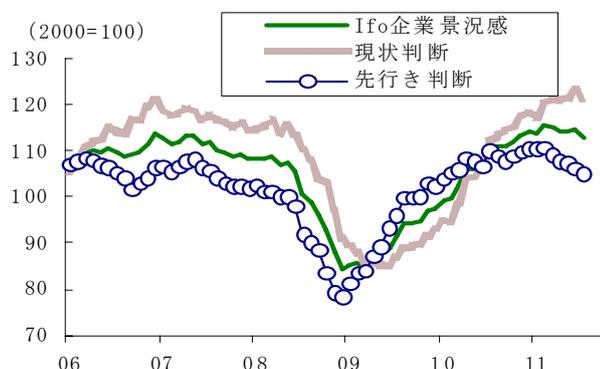
発表日：2011年7月25日(月)

～好調が続くドイツ企業も世界的な景気のソフトパッチから無縁ではられない～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

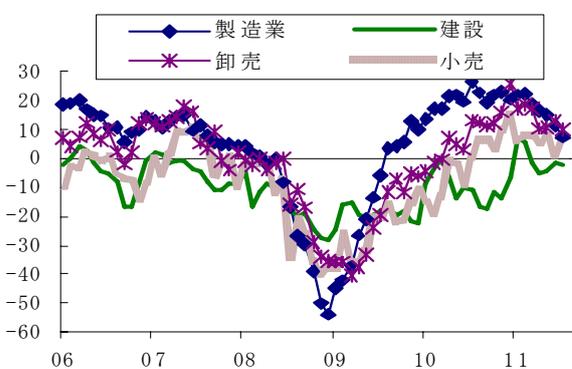
- 22日に発表された7月のドイツの I f o 企業景況感指数は4ヶ月振りに悪化し、昨年10月以来の水準に低下した。先行き判断の一段の慎重化が続くなか（6ヶ月連続で低下）、前月に過去最高を更新した現況判断が4ヶ月振りに悪化に転じたことが響いた。
- 既に2ヶ月連続で業況判断の分岐点を下回っている Z E W 景況感や、今次回復局面で最も弱い約2年振りの水準に低下した P M I 総合産出指数と比べて、I f o 景況感指数はこれまで予想以上の底固さを保ってきた。これは、Z E W 指数が金融市場参加者による先行きの景気判断で財政危機を巡る市場の動揺をより色濃く反映、P M I 指数がその調査方法から足許の限界的な景気判断の変化をより機敏に反映することが影響。だが、世界的な景気のソフトパッチは足許でドイツ企業の現況判断にも影響を及ぼし始めており、目先の景気減速は避けられない。但し、指数水準は依然として高く、企業の旺盛な採用意欲にも変化が見られないため、大幅な景気減速は避けられよう。
- 業種別には、現況判断が製造業、小売業、卸売業で慎重化（建設業は改善）、先行き判断はとりわけ製造業の落ち込みが大きい。同時に発表されたサービス業の景況感指数（十分なデータ数がないため季節調整は行われていない）は、現況判断が小幅改善の一方、先行き判断が慎重化した。

■ドイツ I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：I f o 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

	2010		2011		2010		2011					
	3Q	4Q	1Q	2Q	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
企業景況感(総合)	111.1	113.3	114.8	114.3	114.4	113.9	115.4	115.0	114.1	114.2	114.5	112.9
現況指数	113.2	117.0	119.6	121.9	118.4	117.4	120.2	121.1	121.0	121.5	123.3	121.4
先行き指数	109.0	109.7	110.1	107.1	110.5	110.5	110.7	109.2	107.7	107.4	106.2	105.0
業況判断	14.5	18.8	21.6	20.6	20.9	20.0	22.8	22.0	20.4	20.5	21.0	18.1
製造業	21.3	25.1	29.2	28.0	25.8	27.7	30.5	29.5	28.6	27.7	27.7	23.4
建設業	-16.9	-15.4	-5.5	-4.4	-15.6	-5.9	-3.5	-7.2	-5.7	-5.6	-2.0	-0.7
卸売業	16.0	22.9	21.6	19.0	27.3	18.3	23.4	23.1	18.4	17.1	21.5	18.1
小売業	10.5	17.0	11.6	12.0	23.9	10.2	11.2	13.5	9.6	15.1	11.4	10.7

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。